

厚生労働科学研究費補助金  
がん対策推進総合研究事業

がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランス  
に基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究（20EA1024）

令和2年度 総括研究報告書

研究代表者 濱島ちさと（帝京大学医療技術学部・教授）

令和3（2021）年 5月

目 次

I. 総括研究報告 がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランス に基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究	----- 1
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 4

## 研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
総括研究報告書がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランス  
に基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究

研究代表者 濱島ちさと 帝京大学医療技術学部・教授

## 研究要旨

我が国においても受診者への適切な情報提供を行い、受診者の視点からがん検診の必要性を判断する‘Shared Decision Making’が今後重要となる。その結果、科学的根拠に基づく利益と不利益を個人の価値観に照らし合わせ、最良の方法が選択できることが望ましい。本研究では、我が国においても、がん検診の利益不利益を勘案して受診選択を可能とするためのDecision Aids（意思決定支援ツール）開発を目標とし、研究を進めている。文献レビューにより先行研究におけるDecision Aidsの有効性、都道府県におけるがん検診対策を検討すると共に、患者の語りの質的研究、地域・職域における受診勧奨対策の検討を行った。これらの成果をもとに、我が国におけるがん検診の受診率対策に活用できるDecision Aidsの開発を検討していく。

## 研究分担者：

渡邊 清高（帝京大学医学部・病院教授）  
後藤 励（慶應義塾大学大学院経営管理研究科・教授）  
寺澤 晃彦（藤田医科大学医学部・教授）  
細野 覚代（国立研究開発法人国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部検診評価研究室・室長）  
山崎 恭子（帝京大学医療技術学部・教授）

（利益・不利益等）及び個別要素（自己負担・時間費用等）のレビューを行っている。

③IARCと連携し、細胞診による子宮頸がん検診の不利益、子宮頸がん検診の新技术に関するレビューを行った。

2. 2018年度地域保健・健康増進事業報告と市区町村におけるがん検診の実施状況調査データを用いて、個別受診勧奨の有無とがん検診受診率について検討した。

3. 都道府県におけるがん検診の効果的な実施に資する取り組みと今後の方向性を明らかにするため、2018年3月に取りまとめられた都道府県がん対策推進計画のレビュー計画を評価した。

4. がん検診の受診要因決定に関する行動経済学も含めた研究を整理し、令和3年度に行う予定の調査の準備を行った。

5. 「健康と病いの語りディペックス・ジャパン」データベース (<https://www.dipex-j.org/about/>) より、乳がん、大腸がん患者の語りについて、がん検診のテーマ分析を行った。

## 6. 受診支援対策

①水戸市において大腸がん検診について、FIT郵送、Nurse navigation を含む勧奨モデルの試行調査を行った。

②職域において、大腸がん検診要精検者を対象とし、精検受診支援を開始した。

## A. 研究目的

我が国においても受診者への適切な情報提供を行い、受診者の視点からがん検診の必要性を判断する‘Shared Decision Making’が今後重要となる。その結果、科学的根拠に基づく利益と不利益を個人の価値観に照らし合わせ、最良の方法が選択できることが望ましい。本研究では、我が国においても、がん検診の利益不利益を勘案して受診選択を可能とするためのDecision Aids（意思決定支援ツール）開発を目標とする。

## B. 研究方法

【初年度】諸外国における利益不利益の情報提供の系統的調査、大腸がん検診勧奨試行調査を行う。

【2年度】行動経済学における受診者選択について調査し、科学的根拠と現場のギャップ解消を検討する。これらの科学的根拠をベースにDecision Aids案を作成する。

【3年度】Decision Aids案の外部評価・試行調査を経て最終版を完成する。医療者と受診者がDecision Aidsを共有し活用するための‘Shared Decision Making’を進めるためのマニュアルを作成する。

## C. 研究結果

## 1. 情報提供に関する文献レビュー

①Fact Boxを含めたDecision Aidsの効果についてシステムティックレビューを行った。

②がん検診の意思決定要因について、検診要素

## D. 考察

今後、がん検診受診の判断にも臨床医と受診者が共に行う‘Shared Decision Making’が重要となる。しかし、がん検診を担当する医師・保健師の時間的制約やがん検診の利益の過大評価などから、その環境は整っていない。受診者ががん検診の利益だけでなく、不利益を理解し、個人の価値観に基づいた選択を行うことは、がん検診の継続受診には不可欠のプロセスである。そのため、先行研究のみならず、我が国における受診障壁などの問題を受診者の視点で把握し、情報提供や支援対策に結びつけていくことが必要である。

## E. 結論

文献レビューにより先行研究におけるDecision Aidsの有効性評価や都道府県におけるがん検診対策の検討と共に、患者の語りの質的研究、地域・職域における受診勧奨対策の検討を行った。これらの成果をもとに、我が国におけるがん検診の受診率対策に活用できるDecision Aidsの開発を検討していく。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

濱島ちさと

- 1) Hamashima C, Yoshimura K, Fukao A. A study protocol for expanding the screening interval of endoscopic screening for gastric cancer based on individual risks: prospective cohort study of gastric cancer screening. *Ann Transl Med.* 2020 Dec ;8(23):1604. doi: 10.21037/atm-20-5949. (2020.12)
- 2) Huang RJ, Koh H, Hwang JH, Abnet CC, Alarid-Escudero F, Amieva MR, Bruce MG, Camargo MC, Chan AT, Choi IJ, Corvalan A, Davis JL, Deapen D, Epplein M, Greenwald DA, Hamashima C, Hur C, Inadomi JM, Ji HP, Hwoon-Yong Jung, Lee E, Lin B, Palaniappan LP, Parsonnet J, Peek RM, Piazuelo MB, CS, Shah SC, Smith A, So S, Stoffel EM, Umar A, Wilson KT, Woo Y, Yeoh KG: A Summary of the 2020 Gastric Cancer Summit at Stanford University. *Gastroenterology.* 2020 Jul 21;S0016-5085(20)34993-3. doi: 10.1053/j.gastro.2020.05.100. (2020.7.21)
- 3) Hamashima C : The burden of gastric cancer. *Ann Transl Med.* 2020 Jun;8(12):734. doi: 10.21037/atm.2020.03.166. (2020.6.8)

渡邊 清高

- 1) 渡邊 清高. 研究者の最新動向, 医療・健康情報の「評価」から「質の向上」に向けて, メディアドクター指標を活用した研究者・メディア・市民が一体となった取り組み. *Precision Medicine.* 4巻3号:283-288.(2021.3)
- 2) 渡邊 清高, 関 順彦. 骨・軟部腫瘍のゲノム医療とカウンセリング, がんゲノム医療の現状とこれから. *日本整形外科学会雑誌.* 94巻10号:816-823.(2020.10)

後藤 励

- 1) Okuda M, Ichida Y, Yamane K, Ohtsuka R, Yamaguchi M, Goto R, Yamada A, Sannabe A, Kondo N, Oshio T. Preferences for the forms of co-payment and advance payment in healthcare services; a discrete choice experiment. *Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy.* 2021;3(2). (2021)
- 2) Emoto N, Soga A, Fukuda I, Tanimura-Inagaki K,

Harada T, Koyano HM, Goto R, Sugihara H. Irrational Responses to Risk Preference Questionnaires by Patients with Diabetes with or without Retinopathy and Comparison with Those without Diabetes. *Diabetes Metab Syndr Obes.* 2020 Dec 14;13:4961-4971. doi: 10.2147/DMSO.S283591. eCollection 2020. (2020)

- 3) Matsuoka Y, Goto R, Atsumi T, Morimura N, Nagao K, Tahara Y, Asai Y, Yokota H, Ariyoshi K, Yamamoto Y, Sakamoto T. Cost-effectiveness of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for out-of-hospital cardiac arrest: A multi-centre prospective cohort study. *Resuscitation.* 2020 Dec;157:32-38. doi: 10.1016/j.resuscitation.2020.10.009. (2020.12)

寺澤 晃彦

- 1) Terasawa T, Iwata M, Hamashima C, Hibino M. Effectiveness of decision aids on cancer screening decision making: an umbrella review protocol. PROSPERO International prospective register of systematic reviews. CRD42021235957. 2021. Available online at: [https://www.crd.york.ac.uk/prospéro/display\\_record.php?RecordID=235957](https://www.crd.york.ac.uk/prospéro/display_record.php?RecordID=235957). (4/30 現在査読中)
- 2) Hibino M, Hamashima C, Iwata M, Terasawa T. Effectiveness of decision aids on cancer-screening decision making: an umbrella review protocol. *BMJ Open.* (投稿中)

### 2. 学会発表

濱島ちさと

- 1) Hamashima C. The value of serologic tests in gastric cancer screening. Topic Forum: Screening Strategies for Gastric Cancer., KDDW2020, [ Online Conference ] . [http://kddw.or.kr/conference/2020\\_html/p\\_intro.php](http://kddw.or.kr/conference/2020_html/p_intro.php). (2020.11.19)
- 2) Hamashima C, Sasaki S, Hoshi K, Hosono S, Katayama T, Terasawa T: Human resources for cervical cancer screening in japan- who should take pap smears for cervical cancer screening? ISPOR 2020, [ Live webinars ] . <https://doi.org/10.1016/j.jval.2020.04.1692>. (2020.5.18-5.20),

渡邊 清高

- 1) 落合 亮介, 渡邊 清高, 春山 輝亘, 石原 昌志, 坂本 貴彦, 丹澤 盛, 本田 健, 太田 修二, 市川 靖子, 遠藤 寛子, 古屋 洋子, 金子 希代子, 安原 真人, 村上文, 関 順彦. *Advance Care Planning*を地域で支える地域包括ケア実践に向けた多職種研修会の取り組み. *板橋区医師会医学雑誌.* (1342-9795)24巻 Page143(2021.1)
- 2) 渡邊 清高, 調 憲, 浅尾 高行, 相羽 恵介, 佐々木 治一郎, 藤 也寸志, 竹山 由子, 片瀨 秀隆, 境 健爾, 吉田 稔, 矢野 篤次郎, 加藤 雅志, 富田 尚裕, 西山 正彦. 地域における

- 連携ニーズの分析による類型化がん医療ネットワークナビゲーターの役割. 日本癌治療学会学術集会抄録集. 58回 Page P-453(2020.10)
- 3) 吉田 稔, 調 憲, 相羽 恵介, 渡邊 清高, 佐々木 治一郎, 富田 尚裕, 竹山 由子, 矢野 篤次郎, 片渕 秀隆. がん診療連携を変える認定ネットワークナビゲーター 認定がん医療ネットワークナビゲーター、指定都道府県での活動報告. 日本癌治療学会学術集会抄録集. 58回 Page SSY15-5(2020.10)
  - 4) 渡邊 清高, 佐藤 正恵, 北澤 京子, 浅井 文和, 本島 玲子, 丸木 一成, 前村 聡, 高野 聡, 大野 智. 新型コロナウイルス感染症流行に関するウェビナー(ウェブセミナー)の効果 リスクコミュニケーションの実践的アプローチ. 日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会プログラム・抄録集. 12回 Page69(2020.9)
  - 5) 渡邊 清高, 春山 輝亘, 落合 亮介, 石原 昌志, 坂本 貴彦, 丹澤 盛, 本田 健, 太田 修二, 市川 靖子, 遠藤 寛子, 古屋 洋子, 金子 希代子, 安原 真人, 村上 文, 関 順彦. 地域におけるがん在宅療養をテーマとした事例検討会での多職種連携に向けたニーズ抽出. Palliative Care Research. (1880-5302)15巻Suppl. Page S907(2020.8)
  - 6) 渡邊 清高. ポストコロナにおけるがんサポーターケア領域の教育・研修・啓発のあり方. Palliative Care Research. (1880-5302)15巻Suppl. Page S165(2020.8)

後藤 励

- 1) (招待講演) 後藤 励. 行動経済学の視点から見た生活習慣への介入. 第41回日本肥満学会シンポジウム7「減量実現に向けた効果的な保健指導を考える」富山市 (オンライン参加) (2021.3.20)
- 2) (招待講演) 後藤 励. 行動経済学と健康 ～ナッジ、インセンティブとその背景～. 第79回日本公衆衛生学会学術総会. 京都市 (オンライン参加) (2020.10.20)

山崎 恭子

- 1) 山崎 恭子, 山岸 貴子, 渡辺 翔, 濱島 ちさと. 大腸がん検診における採便キット配布方法と受診率の関連について. 日本消化器がん検診学会雑誌. 58巻Suppl2, 939(2020)
- 2) 山崎 恭子, 山岸 貴子, 濱島 ちさと. 大腸がん検診に関する自治体保健師の役割について. 日本消化器がん検診学会雑誌. 58巻Suppl1, 558(2020)

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
特になし
2. 実用新案登録  
特になし
3. その他  
特になし

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 雑誌

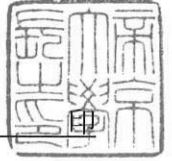
発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hamashima C, Yoshimura K, Fukao A	A study protocol for expanding the screening interval of endoscopic screening for gastric cancer based on individual risks: prospective cohort study of gastric cancer screening.	Ann Transl Med	8(23)	1604 doi: 10.21037/atm-20-5949	2020
Huang RJ, Koh H, Hwang JH, Abnet CC, Alarid-Escudero F, Amieva MR, Bruce MG, Camargo MC, Chan AT, Choi JJ, Corvalan A, Davaris JL, Deapen D, Epplein M, Greenwald DA, Hamashima C, Hur C, Inadomi JM, Ji HP, Hwoon-Yong Jung, Lee E, Lin B, Palaniappan LP, Parsonnet J, Peek RM, Piazuelo MB, CS, Shah SC, Smith A, So S, Stoffel EM, Umar A, Wilson KT, Woo Y, Yeoh KG	A Summary of the 2020 Gastric Cancer Summit at Stanford University.	Gastroenterology	S0016-5085(20)	34993-3 doi: 10.1053/j.gastro.2020.05.100	2020
Hamashima C	The burden of gastric cancer	Ann Transl Med	8(12)	734 doi: 10.21037/atm.2020.03.166	2020
渡邊 清高	研究者の最新動向，医療・健康情報の「評価」から「質の向上」に向けて，メディアドクター指標を活用した研究者・メディア・市民が一体となった取り組み	Precision Medicine	4巻3号	283-288	2021
渡邊 清高， 関 順彦	骨・軟部腫瘍のゲノム医療とカウンセリング，がんゲノム医療の現状とこれから	日本整形外科学会雑誌	94巻10号	816-823	2020

Okuda M, Ichida Y, Yamane K, Ohtsuka R, Yamaguchi M, <u>Goto R</u> , Yamada A, Sannabe A, Kondo N, Oshio T.	Preferences for the forms of co-payment and advance payment in healthcare services; a discrete choice experiment	Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy	3(2)		2021
Emoto N, Soga A, Fukuda I, Tanimura-Inagaki K, Harada T, Koyano HM, <u>Goto R</u> , Sugihara H	Irrational Responses to Risk Preference Questionnaires by Patients with Diabetes with or without Retinopathy and Comparison with Those without Diabetes	Diabetes Metabol Syndr Obes	13	4961-4971 doi: 10.2147/DMSO.S283591.	2020
Matsuoka Y, <u>Goto R</u> , Atsumi T, Morimura N, Nagao K, Tahara Y, Asai Y, Yokota H, Ariyoshi K, Yamamoto Y, Sakamoto T	Cost-effectiveness of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for out-of-hospital cardiac arrest: A multi-centre prospective cohort study	Resuscitation	157	32-38 doi: 10.1016/j.resuscitation.2020.10.009.	2020
<u>Terasawa T</u> , Iwata M, Hamashima C, Hibino M	Effectiveness of decision aids on cancer screening decision making: an umbrella review protocol.	PROSPERO International prospective register of systematic reviews	ICRD42021235957.		2021 (4/30現在査読中)
Hibino M, Hamashima C, Iwata M, <u>Terasawa T</u>	Effectiveness of decision aids on cancer-screening decision making: an umbrella review protocol.	BMJ Open			2021(投稿中)

令和 3 年 4 月 1 日

厚生労働大臣 殿

機関名 帝京大学  
所属研究機関長 職名 学 長  
氏名 沖 永 佳 史



次の職員の令和 2 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 がん検診における 'Shared Decision Making' 推進と利益不利益バランスに基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 医療技術学部看護学科・教授  
(氏名・フリガナ) 濱島ちさと・ハマシマチサト

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	帝京大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。



令和3年4月1日

厚生労働大臣 殿

機関名 帝京大学

所属研究機関長 職名 学 長

氏名 沖永佳史



次の職員の令和2年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランスに基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 医学部 内科学講座 病院教授  
(氏名・フリガナ) 渡邊 清高 (ワタナベ キヨタカ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	帝京大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年3月22日

厚生労働大臣 殿

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 長谷山 彰

次の職員の令和2年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランスに基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究
3. 研究者名 (所属部局・職名) 大学院経営管理研究科 准教授  
(氏名・フリガナ) 後藤 励 ゴトウ レイ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 3 年 4 月 1 日

厚生労働大臣 殿

機関名 藤田医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 才藤 栄一



次の職員の令和 2 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランスに基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究
3. 研究者名 (所属部局・職名) 医学部 救急総合内科学・教授  
(氏名・フリガナ) 寺澤 晃彦・テラサワ テルヒコ

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称： )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

既に公開された一次研究やガイドライン等の資料を利用するデータ統合型研究であり、上記に該当しない。

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 審査中 )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 中金 斉



次の職員の令和2年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 がん検診における 'Shared Decision Making' 推進と利益不利益バランスに基づく  
受診意思決定支援ツール開発のための研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 社会と健康研究センター検診研究部検診評価研究室・室長  
(氏名・フリガナ) 細野 覚代・ホソノ サトヨ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年4月1日

厚生労働大臣 殿

機関名 帝京大学

所属研究機関長 職名 学 長

氏名 冲永佳史



次の職員の令和2年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランスに基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 医療技術学部看護学科 ・ 教授  
(氏名・フリガナ) 山崎 恭子 (ヤマサキ キョウコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	帝京大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。